



一人一人が輝き たくましく生きる 子供づくり

学校だより

大田原市立紫塚小学校
令和5年度6月号
R5. 5. 24
(文責：阿部)



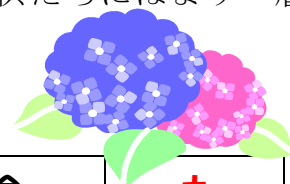
【ホームページ】

5月の中頃から、暑い日が多くなってきました。そのような中、子供たちは5月27日の運動会に向けて、暑さに負けずにダンスや団体種目の練習に取り組んでいます。

昨年度まではコロナ禍ということから、得点を競ったり赤白の勝ち負けを決めたりしないで、体育発表会という形で実施していました。しかし今年度は、『春季大運動会』という名前に戻して、赤白で優勝を競い合う形になります。子供たちもとても楽しみにしているようです。応援にも熱が入っていて、各教室からは応援の練習をする大きな声が聞こえてきます。5月27日の運動会当日の様子は、学校ホームページや次回の学校だよりでお伝えすることができると思います。子供たちの活躍を心から応援し、運動会の盛り上がりを期待しています。

さて、6月に入るとますます暑い日が多くなる上に湿度も上がり、これまで以上に熱中症に注意を要する時期になってきます。新体力テストや各部活動の大会もいくつも予定されています。また、月末には3・4年生の遠足があります。子供たちにはより一層健康管理に気をつけながら、学習・運動に励んでほしいと思います。

6月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
※ 予定は、今後変更になる場合もあります。その際はメール等で御連絡いたします。 ※ 各行事等の詳細については、学校からの文書や学年からの連絡で御確認ください。				1 委員会活動 (4~6年生)	2 薬物乱用防止 教室(6年生)	3
4	5 校内読書週間 (~9日)	6 共遊	7 学年朝会	8 新体力テスト クラブ活動	9	10
11	12 教育相談 (~16日) 俳句出前講座 (5年生)	13 芸術鑑賞教室	14 音読発表 (4年生)	15 読み聞かせ クラブ活動	16	17
18	19 血液検査 (5年生)	20 遠足 (3・4年生) PTA会費振替 予定日	21 5時間授業 (全学年)	22 クラブ活動	23 PTA理事会	24
25	26	27 認知症サポーター 養成講座 (5年生)	28 朝会 (5年生発表)	29 クラブ活動	30	

7月の主な行事予定

5日(水)授業参観 20日(木)夏休みを迎える会 21日(金)~夏休み

6月下旬から7月にかけての土曜日・日曜日に、各部活動の那須地区小学校大会が開かれます。

PTAボランティアによる奉仕活動【5月13日(土)】

1回目のPTA奉仕作業をしていただきました。事前にアンケートを行い、ボランティアを募集したところ、60人を超える方方に集まっていただきました。今回の主な作業は、教室窓拭き、水道前の床マットの清掃、校庭の石拾いでした。さすがに大人の方の手に掛かるとあっという間の作業で、1時間も掛からずに終了しました。

ご参加くださったPTAの皆様大変お世話になりました。



5月25日は開校記念日です

5月25日は、紫塚小学校の開校記念日です。学校のお誕生日です。昭和32(1957)年5月25日に、たくさんのお客さんをお招きして、開校記念式典が挙行されました。この日を開校記念日としています。今から66年前のことです。つまり、紫塚小学校は現在66歳ということになります。

記録によりますと、当時、大田原小学校の児童数が2,500人を超えてしまっていました。そこで、大田原小を二つに分離する形で西原小学校の建設計画がもち上がりました。その最中に、通学距離や地域性を考慮すると、市の北部にも学校が必要であるという地域住民の声が上がり、これが受け入れられてこの地に学校が建設されることになりました。工事は昭和32年の3月までにすべて完了し、開校記念式典に先立ち、4月から子供たちが通い始めました。開校当初の児童数はちょうど300人。全部で7学級あったそうです。



子育てお手伝い (2)

今回は、子どもの自己肯定感を壊してしまう3つの呪いの言葉というものを紹介しました。それで今回は、「じゃあ、子どもにはどんな言葉かけをすればいいの?」というお話です。

呪いの言葉に相対する「子どもの自己肯定感を高める10の魔法の言葉(マジックワード)」というものがあります。簡単に紹介します。

- | | | |
|------------------|---|-----------------------------------|
| ①「すごいね」 | } | 承認のマジックワード |
| ②「さすがだね」 | | 「ほめるのではなく、徹底的に認めてあげましょう。」 |
| ③「いいね」 | | ※ 明るく、軽く、さりげなく。 |
| ④「ありがとう」 | } | 感謝のマジックワード |
| ⑤「いいね」 | | 「こう言ってあげられるシチュエーションを作るよう心がけましょう。」 |
| ⑥「助かった」 | | ※ ありがとうは心を込めて。「うれしい」もプラスすると効果倍増。 |
| ⑦「なるほど」 | } | 感心のマジックワード |
| ⑧「知らなかった」 | | ※ 友達同士、あるいは大人同士のように言う。 |
| ⑨「だいじょうぶ」 | — | 安心のマジックワード ※ 「きっと」や「絶対」は付けないで。 |
| ⑩「〇〇(ちゃん)らしくないね」 | — | 指摘するマジックワード ※ ぴしゃりと1回だけ。 |

わが子相手になかなか言えない言葉かもしれません。でも前回お伝えしたようなマイナスワードばかりでは、子どもの成長も望めず、それを口にする親自身も、落ち込んだり自分を責めたりしてしまうのではないのでしょうか。

そこで、この『10の魔法の言葉』です。今からマイナスワードを一切言わなくなるというのも難しいでしょう。でもそこを何とか数を減らして、代わりにこの「マジックワード」を言うだけでいい。そうしていくうちに、自然とマイナスワードの回数が減っていくはずですよ。もう一つ欲を言えば、子どもを取り囲む大人家族みんながこれを実行していただければ、子どもの自己肯定感はどんどん高まり、それが子どもの幸せな未来につながっていくはずですよ。

そして自己肯定感の高い子どもには、次のような共通点があります。

- ・「できる」「大丈夫」「やってみたい」などのポジティブな言葉をよく使う。
- ・自分の意見をきちんと伝えられる。
- ・むやみに傷つかない。
- ・人にも自分にも寛容(やさしい)。
- ・無用のいさかいはしない。

すると、お気付きのように、高い自己肯定感と高い学力が密接にリンクしてきます。

- ・自己肯定感が上がれば学力も上がる。学力が上がれば自己肯定感も上がる。

その核となるのが、毎日の親の言葉なのです。

(石田勝紀著 「子どもの自己肯定感を高める10の魔法の言葉」より)

